

令和8年度

田原市のまちづくり

3月2日(火)に開会した令和8年田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、令和8年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。令和8年度予算案も原案通り可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

議会議長

議長

《施政方針の要旨》

私の市長としての3期目の任期も、早いもので残り1年余りとなりました。この間、「渥美半島を元気に!」との思いを胸に、一つ一つ着実に市政運営に取り組み、さまざまな課題に全力でチャレンジしてまいりました。引き続き、令和8年度も、「住んで良かった」「住んでみたい」と思っていただけのようなまちを目指し、市政運営に邁進してまいります。

* * *

昨年を振り返りますと、将来を担う子どもや子育て世帯を積極的に応援するため、保育園・こども園の保育料および給食費の無償化、小中学校入学応援金の支給、18歳までの医療費無償化などに加え、新たな支援策として、小中学校給食費の半額支援、そして高校生などへのバス通学費の助成拡充などに取り組んでまいりました。

また、農業分野では、昨年公表された市町村別農業産出額において、本市の農業産出額が5年連続全国2位となり、これまで取り組んできた成果が着実に表れております。

三河港田原地区では、愛知県の事業として、田原公共ふ頭のマイナス10m耐震強化岸壁の整備が、完成に向けて着々と進んでおります。現在も、臨海部への企業進出が着実に進んでおりますが、これにより、船舶の大型化への対応やバルク貨物輸送の効率化、大規模災害の発生に備えた機能強化につながりますので、これを契機に、港を利用する企業など、さらなる企業進出が進み、地域経済の活性化が図られることを期待しております。

また、昨年9月には、伊良湖周辺が県内3か所目となる「みなとオアシス伊良湖」として国土交通省から登録

を受けました。道の駅伊良湖クリスタルポルトを中心に、地元で水揚げされた水産物で作る「Sea級グルメ」なども活用し、伊良湖地域の新たな賑わいの創出を目指してまいります。

この他にも、昨年はワールドサーフィンゲームス以来7年ぶりのサーフィン世界大会を開催し、世界のトップサーファーが熱戦を繰り広げました。そして今年、アジア競技大会のサーフィン競技の開催が予定されております。この機を捉え、本市の魅力のアジアに向けて発信することと、市全体のブランド力を高めるとともに、スポーツの力による地域活性化を図ってまいります。

* * *

令和8年度予算編成における重点施策として、「住み続けたいまちづくり」「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」「未来につながるまちづくり」の3つの柱を掲げ、元氣な渥美半島の実現に向けて取り組んでまいります。

* * *

市民の皆さまとともに地域の活力と安らぎに満ちた暮らしを送ることができるよう、「渥美半島を元気に!」を合言葉に、将来を担う子どもたちが希望の持てるような未来を、そして魅力ある田原市を創っていきたいと思います。令和8年度予算を「未来をひらき、魅力あるたはらを創る」予算として編成いたしました。市民の皆さまの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆施政方針の全文は、市HPで

ご覧いただけます。



▲市HP